

【道路橋点検必携（平成 27 年度）～橋梁点検に関する参考資料～】

【B6 判 480 頁 本体価格 2,500 円】

平成 27 年 4 月 6 日初版第 1 刷発行

平成 30 年 4 月 27 日 第 2 刷発行

《目次》

1.はじめに	1
2.関連法規と点検体系	5
3.橋の種類や諸元	9
3.1 橋の種類	11
3.1.1 橋の構成	11
3.1.2 橋の形式	12
3.1.3 床版の形式	23
3.2 橋の構造と部材の種類	25
3.2.1 継手	25
3.2.2 支承部	41
3.2.3 下部構造	45
3.2.4 伸縮装置	54
3.2.5 排水装置	56
3.2.6 落橋防止システム	57
3.2.7 鋼橋の防食	60
3.2.8 その他の防食	87
3.2.9 床版防水工	88
3.2.10 付属物等	92
3.3 橋の情報	98
4.近接目視の実施	101
4.1 近接計画と点検道具	103
4.1.1 点検計画	103
4.1.2 点検で使用する主な道具	114
4.1.3 持ち物と使い方	116
4.2 近接の方法	118
4.3 目視、打音、触診、その他非破壊検査の方法	122
4.4 安全対策	138
4.4.1 橋梁点検を実施する上での安全対策	138
4.4.2 ワイヤロープの点検と廃棄基準	140
4.4.3 酸素欠乏症等防止規則	143
4.4.4 騒音対策	144
4.4.5 足場	146
4.4.6 クレーン作業	148
5.記録方法	149
5.1 写真の撮り方	151
5.2 部材番号の付け方	158
5.3 損傷図の書き方	160
6.資料集	163
6.1 損傷部位と損傷事例写真集	165
6.1.1 部位毎の損傷事例	165
6.1.2 損傷種類毎の事例	195
6.1.3 塗装の欠陥および劣化	275
6.1.4 溶接の欠陥	281
6.1.5 めっきの劣化	282
6.1.6 異種金属間接触腐食	283
6.2 補修・補強事例写真集	285
6.2.1 上部構造の事例	289
6.2.2 下部構造の事例	302
6.2.3 支承部の事例	307
6.2.4 その他の事例	307
6.3 基準の変遷	308

6.3.1 設計基準の変遷	308
6.3.2 塩害・かぶりの変遷と塩害地域区分	315
6.4 構造の変遷	317
6.4.1 鋼橋の変遷	317
6.4.2 コンクリート橋の変遷	324
6.5 施工技術の変遷	337
6.6 規格集	339
6.6.1 鋼材の規格	339
6.6.2 継手種類と疲労強度等級	343
6.6.3 主な出来形管理基準値	353
6.6.4 道路の幾何構造	370
6.6.5 基本水準面	377
6.7 度量衡換算表	378
7. 参考資料	
7.1 道路橋定期点検要領（平成26年6月）国土交通省道路局	381
7.2 道路橋の災害時緊急点検・応急復旧の手引き（案）	393
参考文献	449
索引	450